

# 日本カトリック神学会 第33回学術大会

**総合テーマ：「教会共同体ーコロナ禍を超えて」**

日程：2021年9月6日(月)～7日(火)

会場：清泉女子大学キャンパス

〒141-8642 東京都品川区東五反田 3-16-21 TEL03-3447-5551

会場： 2号館 240 教室

総会： 2号館 240 教室

休憩室： 2号館 241 教室

■第1日－9月6日（月）

9:00 - 受付開始

9:30 - 10:30 開会の挨拶

シンポジウム

「これからの教会共同体—女性の視点から」

司会：片山 はるひ（上智大学神学部 教授）

提題者：小林 由加 「信仰教育の明日を共に考える」

千葉 くらら 「映像リテラシーと気づき」

小島 さやか 「現代社会に生きる信徒のあり方とは—キリシタンからの考察」

10:30 - 10:40 休憩

10:40 - 11:10 司会・提題者間での質疑応答

11:10 - 11:30 会場参加者との質疑応答

11:30 - 12:20 昼食休憩 ※弁当は事前予約（代金は当日徴収）

12:20 - 13:00 研究発表①「教会論再考

——教皇庁教理省書簡『教会は若返る』（*Iuvenescit Ecclesia*, 2016）を手がかりにして」

阿部 仲麻呂（福岡・東京カトリック神学院 教授）

13:05 - 13:45 研究発表②「シノドスの教会をめぐって

——その目的と問題点」

小西 広志（フランシスコ会）

13:50 - 14:30 研究発表③「マリー＝ドミニク・シュニユの解釈学的神学

——第二バチカン公会議とその後の神学への影響」

武内 裕輝（上智大学大学院神学研究科 博士後期課程）

14:30 - 14:45 休憩

14:45 - 15:25 研究発表④「秘跡論におけるトマス・アキナスと現代

——悔悛の秘跡を中心に」

桑原 直己（筑波大学名誉教授）

15:30 - 16:10 研究発表⑤「グルテンフリーのホスチアは認められるか

——トマス・アキナスの議論に基づいて」

山口 隆介（聖泉大学人間学部 講師）

16:10 - 16:30 休憩

16:30 - 17:30 総会 ※写真撮影

■第2日 - 9月7日 (火)

9:00 - 受付開始

9:30 - 10:10 研究発表⑥「プティジャン版『玫瑰花冠記録』とロザリオの祈りの再興」

中里 郁子 (京都ノートルダム女子大学准教授)

10:15 - 10:55 研究発表⑦「イグナチオ・デ・ロヨラにおける「愛」の諸相

——『靈操』「愛に到るための観想」に関する一考察」

松村 康平 (東京大学大学院総合文化研究科 博士課程)

11:00-11:40 研究発表⑧「B. ロナガンの思想における「宗教経験」

島村 絵里子 (上智大学短期大学部 非常勤講師)

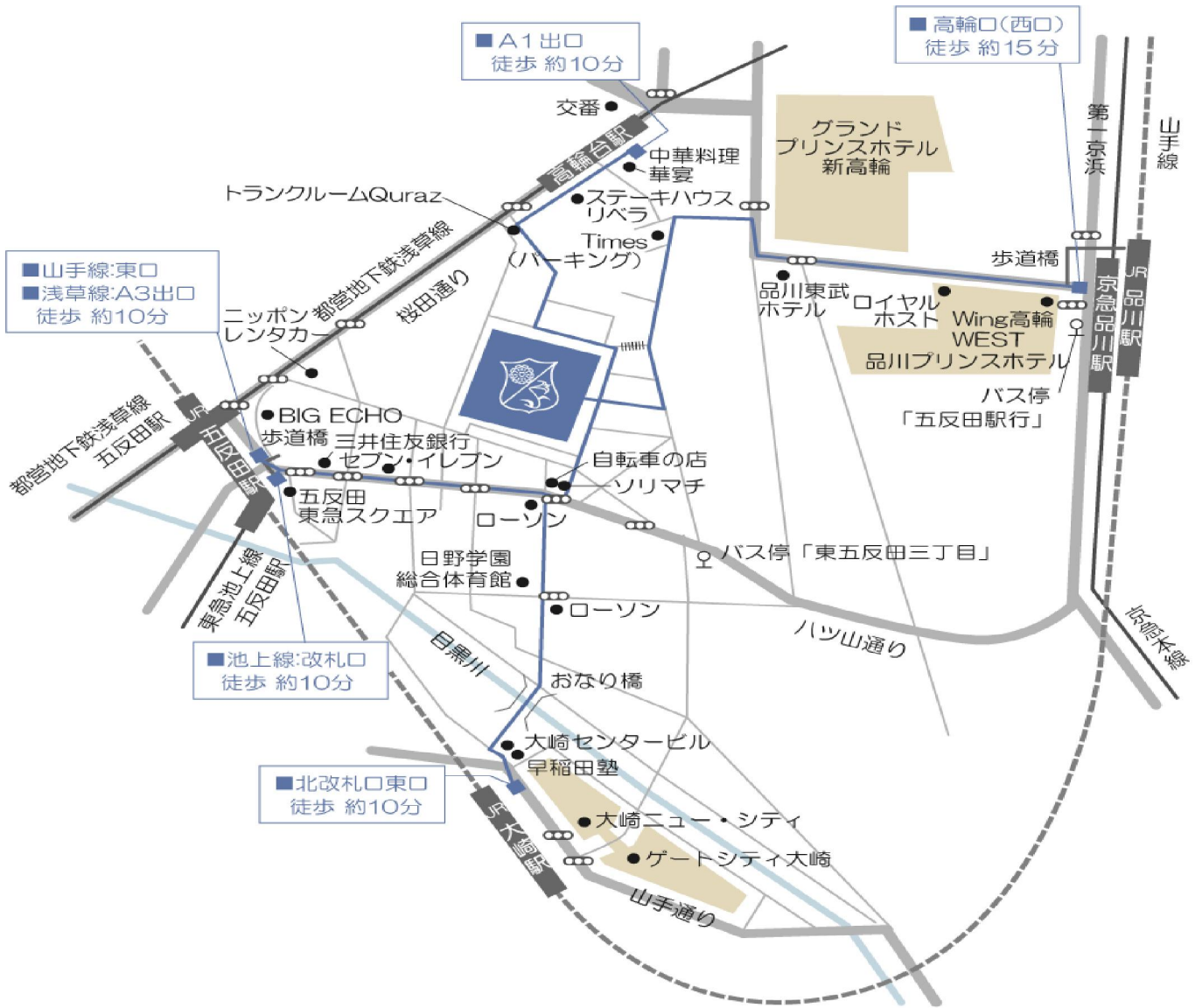
11:45-12:25 研究発表⑨「最初期W・パネンベルクにおける「啓示」の位置づけ

——スコラ学とルターにおける予定の問題との関連で」

西村 一輝 (京都大学文学部大学院思想文化専攻キリスト教学専修 博士後期課程)

12:30 閉会の挨拶

# 清泉女子大学 アクセスガイド



学内は、全面禁煙です。